

防災・減災の取り組み自然災害への備え

A)災害被害を少なくする。自助・共助

- 1.自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人どうしが助け合う「共助」
- 2.自分の生活する地域にどのような自然災害のリスクがあるかを正しく認識する

B) 地域の危険を知る・自宅や近所は安全ですか？

- 1.お客様の防災対策という他力本願ではなく、「やるべきことは自分でやる」
- 2.防災街歩いて危険な場所の確認。揺れやすさマップも参考にする。

C)自宅地震に耐えられますか？

災害の怖さを知る・地震 1

- 1.地域の災害の歴史を調べ、災害に備える。 2.命を守る為の準備

D)災害から命を守る？

災害の怖さを知る・地震 2

- 1.現在の耐震基準の建物確認(耐震診断)
- 2.南海トラフ巨大地震では、自分の命は自分で守る。

E)災害から命を守る？

部屋の総点検・地震

- 1.家の家具等の断捨離・整理整頓 2.家具類の転倒・落下防止を行う

F) 災害から命を守る？

正しい知識と日ごろの備え・水害

- 1.川がそばになくても水害は起こる(都市型水害) 2.気象情報の入手と日ごろからの備え

G) 日ごろからの備え(ローリング・ストック方式)

- 1.病院の診察券、病名、処方薬を書いたメモ、10日間の服用中の薬、解熱鎮痛剤
- 2.安全靴、ラジオ(乾電池)、笛、LEDライト(点滅)簡易トイレ1人10分

H)家族みんなで防災会議

- 1.あらかじめ、災害時にどの親戚や知人等に連絡するか、どの連絡方法を利用するか？
- 2.災害用伝言ダイヤル 171・災害用ブロードバンド伝言版 web171・災害用伝言ダイヤル(携帯)

I)ふだんからの地域とのつながり

- 1.ふだんからお互いに声をかけあうと→いざという時、助け合える(自治会の情報)
- 2.みんなで救護の手順を学ぶ・みんなで歩いて(車いす)避難訓練

J)相模原市の救急

- 1.20台救急車 176名の救急隊員(154名の救急救命士)・救急出場 33,261件(令和2年) 搬送人数 29,068人・心肺停止傷病者人数 699人・市民の役22人に1人が救急要請有り
- 2.近所の分署人員・新磯分署 22人・麻溝台分署 16人・相武台分署 24人
消防職員・南消防署 207人・分団・南方面隊 第1分団～第4分団
講習会・普通救命講習(IⅢ)790人・救命入門コース 65人
- 3.みんなで講習会を受けて災害時、負傷者の手当てを行う(救急要請してもトリアージ有り)

部屋の総点検・家具類の転倒・落下防止を行うと、地震から命が助かる確率大・大・大

「自分の身を守るためにできること」「家族でできること」「近隣住民とできること」を考えておくことが自助・共助による減災につながります。